

学びを止めない電力供給 — ICT教育を支える『crevio Lite』

課題

- 学生がPCを持参するICT学習環境が整備されたが、学内の充電設備が不足
- 長時間利用やバッテリー劣化で学内充電の必要性が増加
- 授業中のバッテリー切れ

解決策

充電ステーションの導入でタブレット・PCの充電問題を解決
授業中のバッテリー切れが改善

導入写真



京都市山科区に本部を置く私立総合大学。学生数：約7100名※通信除く（2025年時点）、情報・AI分野の強化を進めており、2021年に工学部情報工学科を新設。さらに2026年にはデジタルメディア学部やロボティクス学科を開設予定。学生数は今後さらに増加する見込み。

導入製品



crevio®

crevio Lite(クレビオ ライト)
TLP143LITEW-5S

学校に導入済みのICT機器のバッテリー劣化問題を
解決する充電ソリューション

導入事例

京都橘大学様

「学びを止めない電力供給 — ICT教育を支える『crevio Lite』 リン酸鉄モバイルバッテリー&充電ステーション導入の舞台裏」

導入背景と課題

導入前

学生がPCを持参するICT学習環境が整備されたが、学内の充電設備が不足
「自宅で充電」というルールがあったものの、長時間利用やバッテリー劣化で学内充電の必要性が増加
空き教室や廊下での充電が散見され、授業中のバッテリー切れが懸念されていた。

製品選定理由

- PC対応の大容量モバイルバッテリーで、教育機関での導入実績あり
- リン酸鉄バッテリー採用で安全性・耐久性が高く、発熱しにくい
- 製品情報はEDIX（教育関連展示会）で入手が懸念されていた

導入プロセス

予算・運用面で懸念はあったが、学習機会確保とICT教育推進の観点で学内で合意形成を図った。具体的には、貸出・返却はラーニングアシスタント（LA）が管理し、フリー学習スペースで運用する。



京都橘大学 教学事務部教務課長
木本在躬様



京都橘大学 教学事務部教務課
高田康生様

導入後の効果

- 定性的変化：**授業中のバッテリー切れが改善
学生が安心して授業に臨める環境を確保
- 定量的変化：**1日あたり5〜7件の貸出があり、需要は継続的かつ増加傾向
貸出ピークは授業前と昼休み後
- メリット：**持ち運びやすく、ケーブル付属で便利
充電場所を探す手間が減り、学習に集中できる
- 課題：**利用者増加に伴うバッテリー数や管理方法の見直しが必要

今後の展望

- 学生の利用状況や要望に応じて、新棟への追加導入を検討
- サポート体制は迅速で安心感あり
- 学習環境の向上や学生の満足度向上に寄与する



京都橘大学キャンパス内にて撮影。写真左より順に、多摩電子工業 営業統括本部法人営業部長宮下良司、株式会社内田洋行高等教育事業部西日本営業部 高等教育コンサルティング課 三木謙吾様、京都橘大学 教学事務部教務課長 木本在躬様、京都橘大学 教学事務部教務課 高田康生様

※本記事は2025年10月に取材した内容をもとにしています。多摩電子工業 営業統括本部 法人営業部 部長 宮下良司が、京都橘大学 教学事務部教務課長 木本在躬様、京都橘大学 教学事務部教務課 高田康生様にインタビューさせていただきました。